



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月5日

上場会社名 アイエグループ 株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7509 URL <https://www.ia-group.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 教行  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 岡野 良信 TEL 045-821-7500  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日~2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	24,672	△16.8	△414	—	△344	—	△2,140	—
2020年3月期第3四半期	29,642	3.5	1,443	18.9	1,554	18.5	909	18.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △2,104百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 944百万円 (14.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△1,436.09	—
2020年3月期第3四半期	608.59	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	33,813	12,069	35.3
2020年3月期	31,749	14,359	44.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 11,928百万円 2020年3月期 14,243百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2021年3月期	—	60.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、現時点では、合理的な算定が困難であるため、未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	1,645,360株	2020年3月期	1,645,360株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	156,803株	2020年3月期	154,703株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	1,490,327株	2020年3月期3Q	1,494,730株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大(以下、「感染症の拡大」)の影響により、景気動向は急速に悪化いたしました。特に2020年4月の緊急事態宣言の発出後からは、自治体からの外出および営業自粛の要請に伴う経済活動の停滞により、個人消費が大きく落ち込むことで企業業績も大幅に悪化いたしました。また、緊急事態宣言の解除後は経済活動の再開と感染症の拡大防止の両立を模索する動きが見られましたが、2020年11月以降は再び感染者数が増加に転じるなど感染症の収束が見通せないなか、国内経済の回復に向けた動きは鈍く、その先行きは極めて不透明な状況が続いております。

そのような中、当社グループにおいては基幹事業であるカー用品事業は増収減益、ブライダル事業は減収減益となり、建設不動産事業は増収増益となりました。

なお、セグメント別の状況は下記の通りとなります。

#### (カー用品事業)

2020年4月の緊急事態宣言期間中は来店客数の減少に加え高単価商材の売れ行きが不振でありましたが、緊急事態宣言の解除後は来店客数の水準が前年を上回るようになり、車の利用頻度向上を背景にメンテナンスや洗車関連用品・車輛販売が順調に推移したことにより、前年同期と比べ増収となりました。利益面においては売上総利益率が前年に届かず減益となりました。

#### (ブライダル事業)

感染症の拡大により、当第3四半期連結累計期間にご予約いただいていた婚礼の相当数が延期となったことで、前年同期と比べ減収減益となりました。

#### (建設不動産事業)

高収益物件の戦略的な売却と、収益性を重視した優良賃貸物件の賃貸稼働率の向上に努めたことにより、前年同期と比べ増収増益となりました。

#### (その他の事業)

感染症の拡大によるコメダ珈琲店舗の来店客数の減少と、前期末に行ったコメダ珈琲横浜元町店の事業譲渡により前年同期と比べ減収となりましたが、販売管理費の削減等により増益となりました。

#### (総括)

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は24,672百万円(前年同期比16.8%減)となり、営業損失につきましては414百万円(前年同期は1,443百万円の利益)、経常損失につきましては344百万円(前年同期は1,554百万円の利益)となりました。また、当社グループが保有する事業用資産の一部について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損損失1,339百万円を特別損失に計上しました。これにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は、2,140百万円(前年同期は909百万円の利益)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は33,813百万円となり、前連結会計年度末と比べ2,063百万円増加しました。

## a. 流動資産

流動資産残高は、15,962百万円(前連結会計年度末比4,078百万円増)となりました。主な増加要因は現金及び預金の増加(2,533百万円増)であります。

## b. 固定資産

固定資産残高は、17,850百万円(前連結会計年度末比2,014百万円減)となりました。主な減少要因は、建物及び構築物の減少(1,986百万円減)であります。

## c. 流動負債

流動負債残高は、13,865百万円(前連結会計年度末比4,012百万円増)となりました。主な増加要因は、買掛金の増加(3,369百万円増)であります。

## d. 固定負債

固定負債残高は、7,879百万円(前連結会計年度末比341百万円増)となりました。主な増加要因は、長期借入金等の増加(273百万円増)であります。

## e. 純資産

純資産残高は、12,069百万円(前連結会計年度末比2,290百万円減)となりました。主な減少要因は、利益剰余金の減少(2,319百万円減)であります。

自己資本比率は、35.3%となり前連結会計年度末比9.6ポイントの減少となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2020年5月22日に公表しましたとおり、国内外の消費活動の停滞がいつまで続くのかを見通すことが難しく、現時点において業績への影響を合理的に算定することが困難であると判断し、2021年3月期の業績予想は引き続き未定とさせていただきます。今後、合理的な予想が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,360,023	3,893,931
売掛金	1,513,342	2,280,430
たな卸資産	8,191,701	8,749,942
その他	819,102	1,038,576
流動資産合計	11,884,171	15,962,881
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,240,141	5,253,681
土地	6,987,069	6,862,838
リース資産(純額)	87,917	60,555
建設仮勘定	8,537	59,351
その他(純額)	401,561	412,042
有形固定資産合計	14,725,227	12,648,469
無形固定資産		
電話加入権	9,258	9,258
その他	86,168	58,347
無形固定資産合計	95,427	67,606
投資その他の資産		
投資有価証券	87,079	93,995
長期貸付金	20,640	20,190
長期前払費用	153,615	133,034
差入保証金	3,127,965	3,128,435
繰延税金資産	1,525,424	1,549,026
その他	150,786	230,100
貸倒引当金	△20,640	△20,190
投資その他の資産合計	5,044,871	5,134,591
固定資産合計	19,865,525	17,850,666
資産合計	31,749,696	33,813,547

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,422,433	4,792,203
短期借入金	5,224,023	5,789,076
リース債務	54,311	40,306
未払法人税等	303,854	414,041
未払消費税等	368,034	297,982
未成工事受入金	43,810	5,816
賞与引当金	409,525	217,791
その他	2,026,587	2,308,060
流動負債合計	9,852,580	13,865,279
固定負債		
長期借入金	4,272,765	4,546,764
リース債務	84,752	51,727
長期預り保証金	788,826	780,168
退職給付に係る負債	550,553	571,326
役員退職慰労引当金	558,800	639,741
資産除去債務	1,160,270	1,170,219
繰延税金負債	115,791	115,791
その他	5,808	3,508
固定負債合計	7,537,567	7,879,246
負債合計	17,390,147	21,744,526
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,314,100	1,314,100
資本剰余金	1,824,791	1,824,791
利益剰余金	11,660,226	9,341,100
自己株式	△531,550	△538,361
株主資本合計	14,267,567	11,941,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,149	18,303
退職給付に係る調整累計額	△34,236	△31,891
その他の包括利益累計額合計	△24,086	△13,588
非支配株主持分	116,068	140,980
純資産合計	14,359,549	12,069,021
負債純資産合計	31,749,696	33,813,547

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	29,642,095	24,672,529
売上原価	16,482,847	14,128,394
売上総利益	13,159,248	10,544,134
販売費及び一般管理費	11,715,892	10,958,704
営業利益又は営業損失(△)	1,443,355	△414,570
営業外収益		
受取利息及び配当金	13,126	13,116
受取手数料	61,673	53,080
受取家賃	14,597	14,415
その他	70,800	39,835
営業外収益合計	160,198	120,448
営業外費用		
支払利息	35,822	35,927
その他	12,746	14,519
営業外費用合計	48,568	50,446
経常利益又は経常損失(△)	1,554,984	△344,568
特別利益		
受取保険金	80,714	—
固定資産売却益	703	—
助成金収入	—	108,692
その他	—	5,858
特別利益合計	81,417	114,550
特別損失		
固定資産除却損	5,256	1,914
投資有価証券売却損	—	4,000
災害損失	111,583	—
減損損失	—	1,339,593
その他	2,487	6,139
特別損失合計	119,328	1,351,647
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,517,074	△1,581,664
法人税等	569,394	533,670
四半期純利益又は四半期純損失(△)	947,680	△2,115,335
非支配株主に帰属する四半期純利益	38,004	24,912
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	909,675	△2,140,247

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	947,680	△2,115,335
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,401	8,153
退職給付に係る調整額	2,344	2,344
その他の包括利益合計	△3,056	10,497
四半期包括利益	944,623	△2,104,837
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	906,619	△2,129,749
非支配株主に係る四半期包括利益	38,004	24,912



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	カー用品 事業	プライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	20,521,997	6,968,892	1,900,349	29,391,239	250,856	29,642,095	—	29,642,095
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,380	100	186,894	196,375	1,037,240	1,233,615	△ 1,233,615	—
計	20,531,377	6,968,992	2,087,244	29,587,614	1,288,096	30,875,711	△ 1,233,615	29,642,095
セグメント利益又は損失(△)	1,097,364	160,442	213,502	1,471,309	△ 31,381	1,439,928	3,426	1,443,355

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	カー用品 事業	プライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	20,592,955	1,903,650	1,974,953	24,471,559	200,969	24,672,529	—	24,672,529
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,106	57	196,058	202,222	1,041,735	1,243,967	△ 1,243,957	—
計	20,599,061	1,903,707	2,171,012	24,673,781	1,242,704	25,916,486	△ 1,243,957	24,672,529
セグメント利益又は損失(△)	985,676	△ 1,939,130	546,711	△ 406,741	△ 8,405	△ 415,147	577	△ 414,570

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「プライダル事業」セグメントにおいて、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループについて帳簿価額を回収可能価額まで減額した減少額1,339,593千円を減損損失として特別損失に計上しております。